

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 東海財務局長

【提出日】 平成24年12月28日

【四半期会計期間】 第42期第1四半期(自 平成24年8月21日 至 平成24年11月20日)

【会社名】 ケイティケイ株式会社

【英訳名】 ktk INC.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 青山英生

【本店の所在の場所】 名古屋市東区泉二丁目3番3号

【電話番号】 (052)931-1881(代表)

【事務連絡者氏名】 常務取締役管理部長 木村裕史

【最寄りの連絡場所】 名古屋市東区泉二丁目3番3号

【電話番号】 (052)931-1881(代表)

【事務連絡者氏名】 常務取締役管理部長 木村裕史

【縦覧に供する場所】 株式会社大阪証券取引所  
(大阪市中央区北浜一丁目8番16号)  
ケイティケイ株式会社 東京支店  
(東京都大田区蒲田四丁目22番3号 住友生命蒲田ビル3F)  
ケイティケイ株式会社 大阪支店  
(大阪市中央区南船場一丁目13番14号 西田ビル4F)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次 会計期間	第41期 第1四半期 連結累計期間	第42期 第1四半期 連結累計期間	第41期
	自 平成23年 5月21日 至 平成23年 8月20日	自 平成24年 8月21日 至 平成24年11月20日	自 平成23年 5月21日 至 平成24年 8月20日
売上高 (千円)	2,071,564	2,064,595	10,387,692
経常利益又は経常損失( ) (千円)	24,673	26,678	18,446
四半期純利益又は 四半期(当期)純損失( ) (千円)	18,096	18,076	78,572
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	18,631	18,097	77,396
純資産額 (千円)	2,020,552	1,954,423	1,947,238
総資産額 (千円)	4,222,190	4,216,792	4,101,656
1株当たり四半期純利益金額又は 1株当たり四半期(当期)純損失金額( ) (円)	4.97	4.96	21.60
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)			
自己資本比率 (%)	47.9	46.3	47.5

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 第41期第1四半期連結累計期間、第41期の潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、1株当たり四半期(当期)純損失金額であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

4. 第42期第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

5. 第41期は決算期変更により、平成23年5月21日から平成24年8月20日までの15ヶ月の変則決算となっております。これに伴い、第41期第1四半期連結累計期間と第42期第1四半期連結累計期間とは対象期間が異なります。

#### 2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容に重要な変更はありません。また、主要な関係会社についても異動はありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等はありません。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

前連結会計年度の決算期変更に伴い、当第1四半期連結累計期間は比較対象となる前第1四半期連結累計期間と対象期間が異なるため、対前年同四半期増減比は記載していません。

#### (1) 業績の状況

当第1四半期連結累計期間(平成24年8月21日～平成24年11月20日)におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興需要が内需を支えるものの、欧州債務問題に起因する海外経済の減速に加えて日中関係の悪化等、今後の見通しに新たな懸念材料も多く景気回復の動きに足踏み傾向がみられます。

このような中で、当社グループを取り巻く経営環境は、企業の業況感が慎重化しており、長引く景気低迷を受けてコスト削減意識も一段と高まっているため、依然厳しい状況が続いております。

これらの結果、売上高は2,064,595千円となりました。営業利益は26,623千円、経常利益は26,678千円、四半期純利益は18,076千円となりました。

なお、セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### (サプライ事業)

当社グループの主力商品であるリサイクル商品(リパクトナー)は、企業における継続的な消耗品使用量の節約や経費削減を目的とするプリンター集約化並びに大手メーカーの複合機化戦略の影響を受けました。

OAサプライ商品は、インクリボンやPPC用紙、その他サプライ用品の売上高が順調に推移したものの商品群全体の売上高は低迷しました。

その他商品においては、当社独自のWeb購買システム「ケイティケイ はっするネット」の導入件数の増加により、一般事務用品などの売上高が順調に推移しました。

これらの結果、売上高は2,007,369千円、セグメント利益(経常利益)は17,533千円となりました。

#### (ソリューション事業)

クラウドの需要に支えられクラウド型メールセキュリティサービス「@Securemail」シリーズの売上高は堅調に推移したものの、ActCLOUD構築サービスにおいては前年同時期の震災後の一時的な需要増に対する反動を受けました。

これらの結果、売上高は57,226千円、セグメント利益(経常利益)は9,144千円となりました。

## (2) 財政状態の分析

当第1四半期連結会計期間末における総資産は前連結会計年度末に比べ115,135千円増加し、4,216,792千円となりました。

流動資産は、現金及び預金が31,848千円、受取手形及び売掛金が106,677千円増加したこと等により前連結会計年度末に比べ143,907千円増加の2,464,343千円となりました。固定資産は、投資その他の資産が25,932千円減少したこと等により前連結会計年度末に比べ28,772千円減少の1,752,449千円となりました。

流動負債は、支払手形及び買掛金が81,919千円増加し、賞与引当金が32,413千円減少したこと等により前連結会計年度末に比べ117,755千円増加の2,144,783千円となりました。

固定負債は、役員退職慰労引当金が8,442千円減少したこと等により前連結会計年度末に比べ9,805千円減少の117,585千円となりました。

純資産は、利益剰余金が7,165千円増加したこと等により前連結会計年度末に比べ7,185千円増加の1,954,423千円となりました。

## (3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当連結会社の事業上及び財務上の対処すべき課題に変更及び新たに生じた課題はありません。

## (4) 研究開発活動

当社グループでは、サプライ事業のリサイクル新商品に関する研究開発活動を連結子会社である株式会社アイオーテクノにて行っており、当第1四半期連結累計期間の研究開発費は6,290千円であります。

なお、当第1四半期連結累計期間において当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	12,000,000
計	12,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成24年11月20日)	提出日現在 発行数(株) (平成24年12月28日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	3,675,000	5,875,000	大阪証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数は100株であり ます。
計	3,675,000	5,875,000		

(注) 平成24年12月21日を効力発生日とする株式会社青雲クラウンの完全子会社化に伴う株式交換により、発行済株式総数が2,200,000株増加しております。

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成24年11月20日		3,675		294,675		259,675

(注) 平成24年12月21日を効力発生日として、当社を株式交換完全親会社、株式会社青雲クラウンを完全子会社とする株式交換を行っております。

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成24年11月20日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 37,700		
完全議決権株式(その他)	普通株式3,636,500	36,365	
単元未満株式	普通株式 800		
発行済株式総数	3,675,000		
総株主の議決権		36,365	

(注) 1 「単元未満株式」の欄の普通株式には、当社所有の自己株式15株を含んでおります。

2 当第1四半期会計期間末日現在の「発行済株式」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成24年8月20日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【自己株式等】

平成24年11月20日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) ケイティケイ株式会社	名古屋市東区泉 二丁目3番3号	37,700		37,700	1.03
計		37,700		37,700	1.03

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

当社は、平成23年8月10日開催の第40期定時株主総会の決議により、決算期を5月20日から8月20日に変更いたしました。これに伴い、前第1四半期連結会計期間及び前第1四半期連結累計期間は平成23年5月21日から平成23年8月20日まで、当第1四半期連結会計期間及び当第1四半期連結累計期間は平成24年8月21日から平成24年11月20日までとなっております。また、前連結会計年度は平成23年5月21日から平成24年8月20日までの15カ月間となっております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間(平成24年8月21日から平成24年11月20日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成24年8月21日から平成24年11月20日まで)に係る四半期連結財務諸表について、五十鈴監査法人による四半期レビューを受けております。

## 1【四半期連結財務諸表】

## (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年8月20日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年11月20日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	873,625	905,473
受取手形及び売掛金	1,153,707	1,260,385
有価証券	20,984	20,988
商品及び製品	127,357	121,222
仕掛品	3,400	3,061
原材料及び貯蔵品	88,149	89,126
その他	55,507	66,599
貸倒引当金	2,298	2,514
流動資産合計	2,320,435	2,464,343
固定資産		
有形固定資産		
土地	863,977	863,977
その他(純額)	390,468	387,339
有形固定資産合計	1,254,446	1,251,317
無形固定資産		
その他	91,187	91,476
無形固定資産合計	91,187	91,476
投資その他の資産		
その他	438,078	412,269
貸倒引当金	2,491	2,614
投資その他の資産合計	435,587	409,655
固定資産合計	1,781,221	1,752,449
資産合計	4,101,656	4,216,792
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	772,354	854,273
短期借入金	963,772	945,772
未払法人税等	2,117	13,624
賞与引当金	32,413	-
その他	256,370	331,113
流動負債合計	2,027,027	2,144,783
固定負債		
長期借入金	9,216	7,773
役員退職慰労引当金	69,247	60,804
その他	48,927	49,007
固定負債合計	127,390	117,585
負債合計	2,154,418	2,262,368

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年8月20日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年11月20日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	294,675	294,675
資本剰余金	259,675	259,675
利益剰余金	1,412,486	1,419,651
自己株式	20,929	20,929
株主資本合計	1,945,907	1,953,072
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,331	1,351
その他の包括利益累計額合計	1,331	1,351
純資産合計	1,947,238	1,954,423
負債純資産合計	4,101,656	4,216,792

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年5月21日 至平成23年8月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年8月21日 至平成24年11月20日)
売上高	2,071,564	2,064,595
売上原価	1,542,656	1,529,533
売上総利益	528,907	535,062
販売費及び一般管理費	552,771	508,439
営業利益又は営業損失( )	23,864	26,623
営業外収益		
受取利息	36	35
受取配当金	550	81
受取家賃	1,073	1,773
受取手数料	258	136
その他	1,007	975
営業外収益合計	2,926	3,003
営業外費用		
支払利息	2,698	2,607
その他	1,036	340
営業外費用合計	3,735	2,948
経常利益又は経常損失( )	24,673	26,678
特別損失		
投資有価証券評価損	263	1,051
特別損失合計	263	1,051
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失( )	24,936	25,626
法人税、住民税及び事業税	9,212	12,483
法人税等調整額	16,052	4,933
法人税等合計	6,840	7,549
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失( )	18,096	18,076
四半期純利益又は四半期純損失( )	18,096	18,076

【四半期連結包括利益計算書】  
 【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年5月21日 至平成23年8月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年8月21日 至平成24年11月20日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失( )	18,096	18,076
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	535	20
その他の包括利益合計	535	20
四半期包括利益	18,631	18,097
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	18,631	18,097
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

前第1四半期連結累計期間 (自平成23年5月21日 至平成23年8月20日)		当第1四半期連結累計期間 (自平成24年8月21日 至平成24年11月20日)	
減価償却費	25,345千円	減価償却費	21,636千円
のれんの償却額	515千円	のれんの償却額	千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自平成23年5月21日 至 平成23年8月20日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年8月10日 定時株主総会	普通株式	25,460	7	平成23年5月20日	平成23年8月11日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成24年8月21日 至 平成24年11月20日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年11月13日 定時株主総会	普通株式	10,911	3	平成24年8月20日	平成24年11月14日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成23年5月21日 至 平成23年8月20日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	サプライ事業	ソリューション 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,003,273	68,290	2,071,564		2,071,564
セグメント間の内部売上高 又は振替高		72	72	72	
計	2,003,273	68,363	2,071,636	72	2,071,564
セグメント利益又は セグメント損失( )	28,025	3,352	24,673		24,673

(注) セグメント利益又はセグメント損失( )は、四半期連結損益計算書の経常損失と調整を図っております。

当第1四半期連結累計期間(自 平成24年8月21日 至 平成24年11月20日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	サプライ事業	ソリューション 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,007,369	57,226	2,064,595		2,064,595
セグメント間の内部売上高 又は振替高		147	147	147	
計	2,007,369	57,373	2,064,743	147	2,064,595
セグメント利益	17,533	9,144	26,678		26,678

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を図っております。

## (1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年5月21日 至平成23年8月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年8月21日 至平成24年11月20日)
1株当たり四半期純利益金額又は 1株当たり四半期純損失金額( )	4円97銭	4円96銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額又は 四半期純損失金額( ) (千円)	18,096	18,076
普通株主に帰属しない金額 (千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額又は 普通株式に係る四半期純損失金額( ) (千円)	18,096	18,076
普通株式の期中平均株式数 (株)	3,637,285	3,637,285

- (注) 1 前第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失金額であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
- 2 当第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

## (重要な後発事象)

当社は、平成24年8月2日開催の取締役会において、平成24年12月21日を効力発生日として当社を完全親会社、株式会社青雲クラウン(以下「青雲クラウン」といいます。)を完全子会社とする株式交換(以下「本株式交換」といいます。)を実施することを決議し、平成24年11月13日開催の第41期定時株主総会において株式交換契約の承認を得ましたので、本株式交換を平成24年12月21日に実施いたしました。

## 株式交換の目的

青雲クラウンは、創業137年の歴史を有し、文具事務用品及び事務機器の卸を主な業務としております。永年の信頼関係を基盤に、有力文具店・事務機店との販路は確立されており、またクラウングループの一員として文具事務機関係の仕入先とも良好な関係が構築されております。

当社と青雲クラウンとは、これまで販売提携契約を締結し、「ケイティケイ はっするネット」のロジスティクス戦略を推進する上で、物流面では青雲クラウンの運用する物流システムと連携、また商品の仕入においては青雲クラウンの取引するメーカーとの太いパイプを活かした幅広い調達力を活用するなど、両社の強みを補完し合う協業関係にありました。

このような中、株式交換の手法を用いて両社の経営統合を行うことにより、お客様のニーズに対し、よりの確でスピーディーにお応えできる体制が構築可能となり、当社が標榜する「トータルビジネスサポート」の実現に向けてさらに前進できるものと判断いたしました。

## 株式交換の内容

当社を完全親会社とし、青雲クラウンを完全子会社とする株式交換

#### 株式交換比率

青雲クラウンの株式 1 株に対し、当社株式 1 株を割当てます。

#### 株式交換により発行する新株式数

普通株式 2,200,000株

当社は本株式交換に伴い、新たに発行した普通株式2,200,000株を、平成24年12月21日に青雲クラウンの株主に対して割当交付いたしました。また、この新株発行により資本準備金が448,800千円増加しております。

## 2 【その他】

該当事項はありません。

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年12月28日

ケイティケイ株式会社  
取締役会 御中

五十鈴監査法人

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 太 田 豊 印

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 西 野 賢 也 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているケイティケイ株式会社の平成24年8月21日から平成25年8月20日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間(平成24年8月21日から平成24年11月20日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成24年8月21日から平成24年11月20日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、ケイティケイ株式会社及び連結子会社の平成24年11月20日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。  
以 上

- (注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。  
2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。